

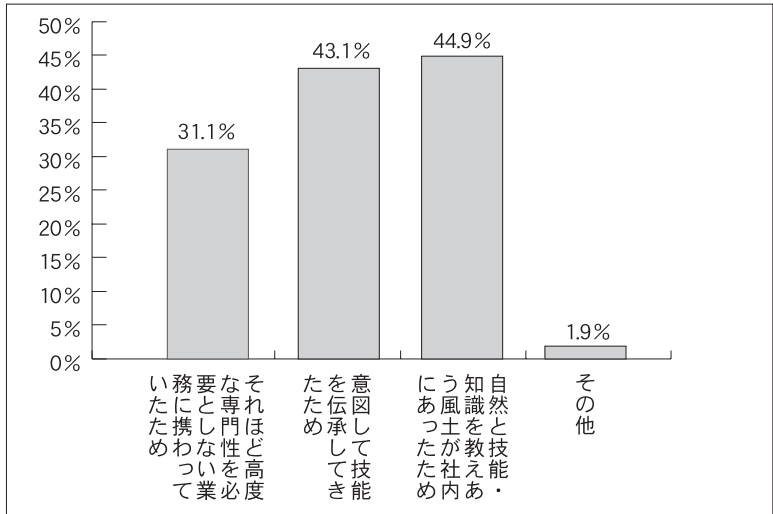
技能・知識の伝承に生き甲斐

産能大「60歳以上の会社員 仕事に対する意識調査」

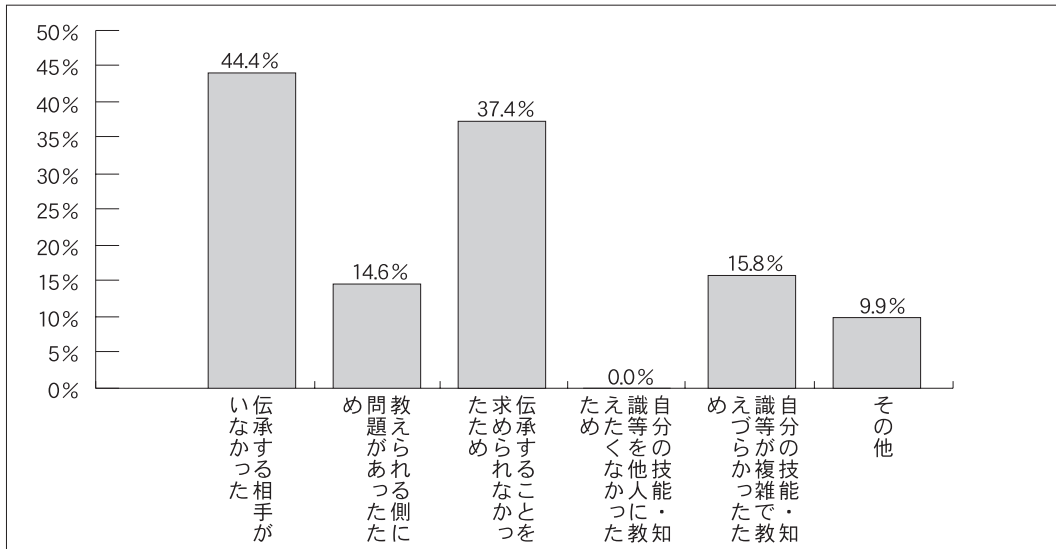
過去の経験から得た知識や知恵、ノウハウや技能を社内で伝承できていると思うか



伝承できていると思う理由 回答=267



伝承できていないと思う理由 回答=171



若い社員に伝えたい教訓

年齢とともに体力は減少するが、知恵はアップする▽何事もうわべだけを覚えるのではなく、なぜかやるのかを考えよう▽人をけなすことより、自分をうならないう▽自分の能力にあわせて、他人を評価しない▽自分の仕事に情熱を持続すること▽個人の知識や能力には限界がある。周囲の人たちの協力を得よう▽仕事に追われるよりも仕事を追うことを意識する▽企業名と職位ではなく、自分の姓名で仕事ができるようになることがファーストステップ

4割が「できていない」役職定年制「必要」7割

労働人口の減少が見込まれる中、高齢層社員の活用が企業の課題の1つとなっている。産業能率大学が高齢層の正社員や契約社員などビジネスパーソンを対象に実施した「仕事に対する意識調査」によると、やりたい仕事は「技能・知識の伝承」がもっとも多かったが、4割弱が「伝承できていない」と答えた。同大は「伝承できるような仕組みを意図的に作り出していくべきだ」とアドバイスしている。

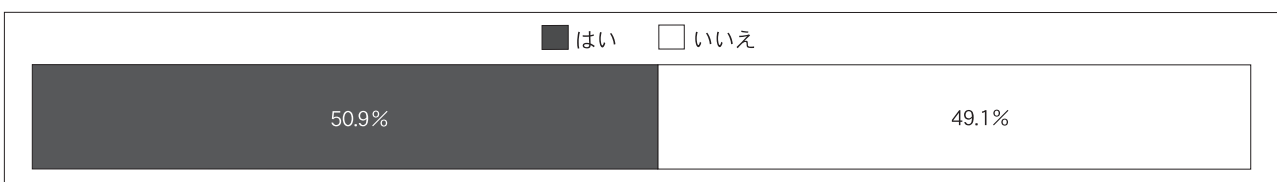
調査は60歳以上の正社員、契約社員（アルバイトを除く）を対象に、3月25日から4日間、インターネット調査会社を通じて実施した。438人（うち女性34人）の回答を得た。若い社員に伝えたい「教訓」も聞いている。

役職定年制について必要だと思うかどうかを尋ねたところ、「必要」が72.8%あった。必要だと思う理由は「組織の新陳代謝のため」（89.6%）、必要でないと思う理由は「能力は年齢と関係がないため」（89.1%）がもっとも高い結果だった。

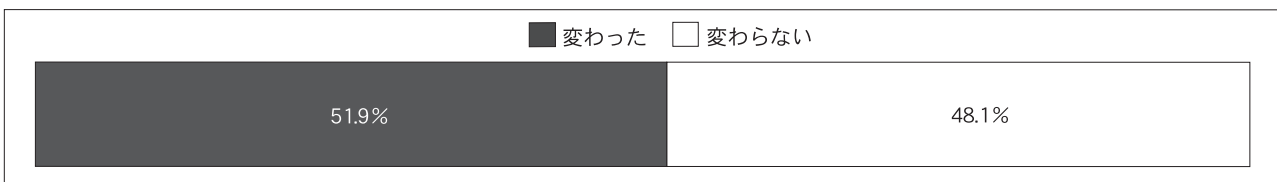


調査データ

勤務先では役職定年制は導入されているか



（定年退職後の人対象）定年前と職種・業務内容は変わったか 回答=316



上司は、年齢があなたよりも年上か年下か



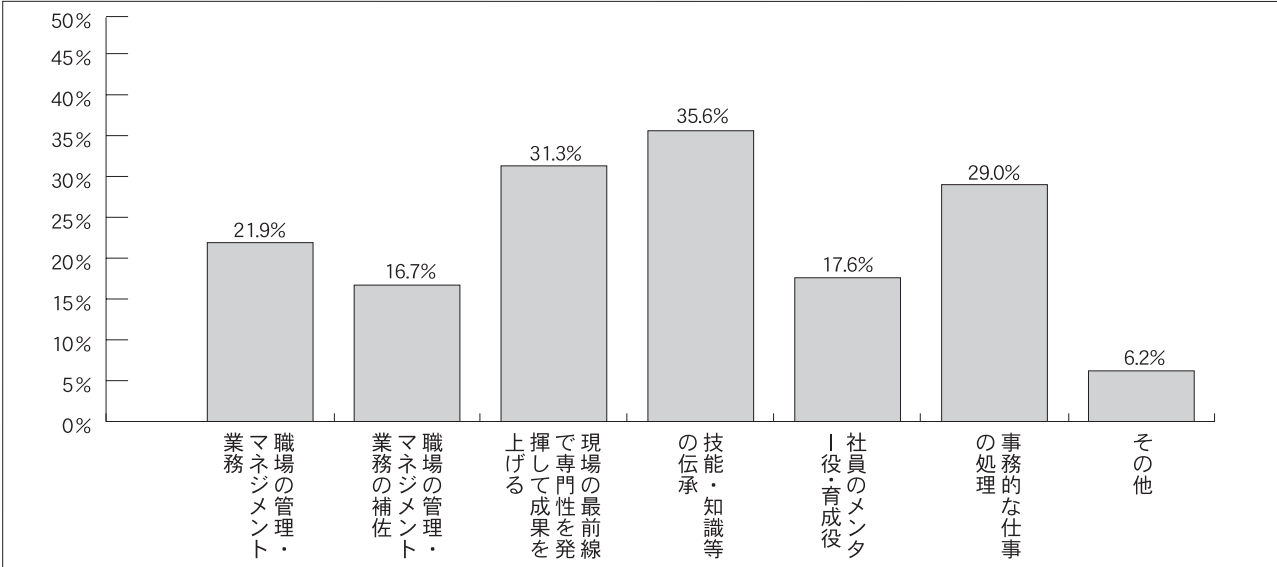
やりづらさを感じるか 回答=159



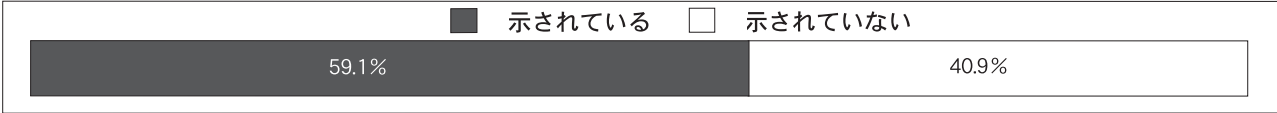
上司にはどのように接してほしいと思うか（自由回答）

- ※主な回答
- ・普通に接してくれて良い
- ・気を遣いすぎる
- ・あまり意識せずに普通に
- ・言葉遣いに気を使ってほしい
- ・上司でも年上の社員という立場に配慮した対応をするべき
- ・あまり上から目線で話さないでほしい

職場でどのような役割を求められているか



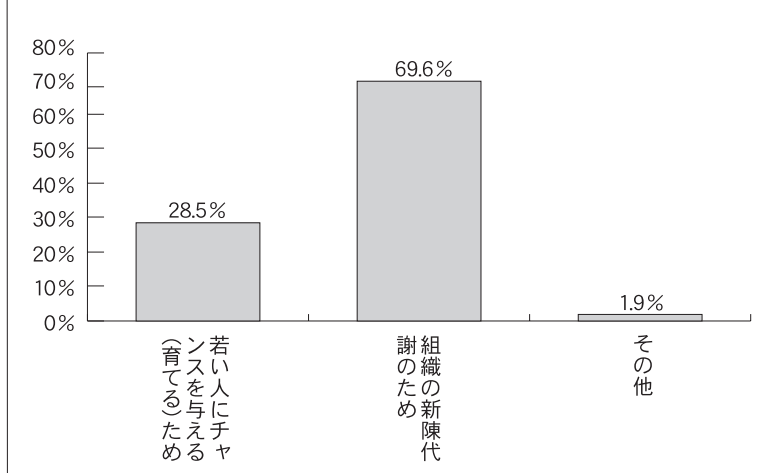
会社や職場から、どのような役割を求められているかを示されている



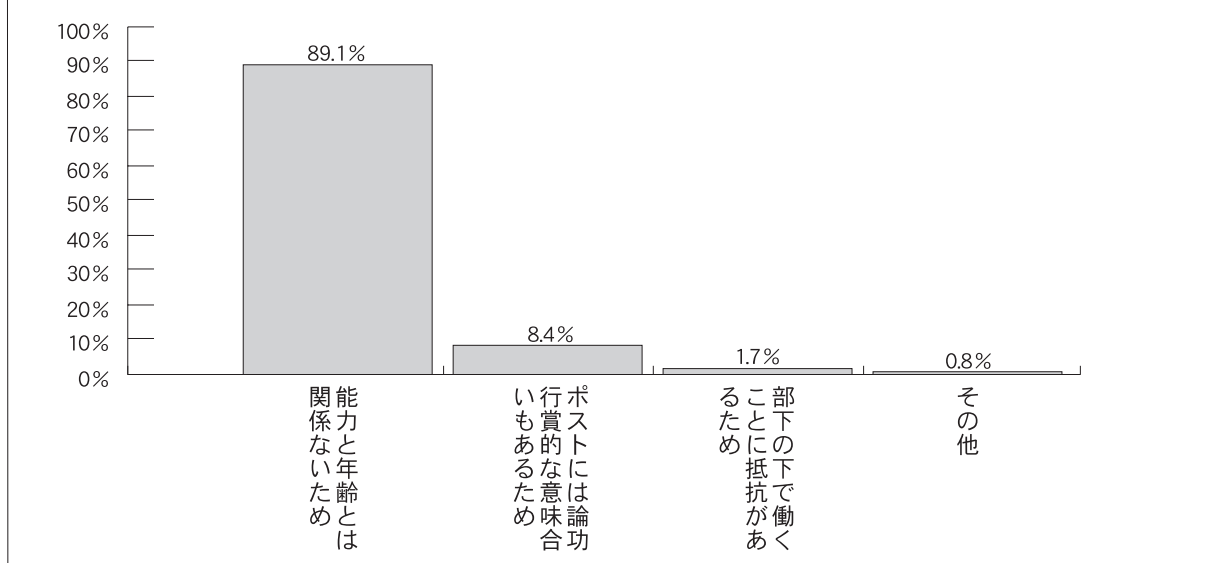
役職定年についてどう思うか



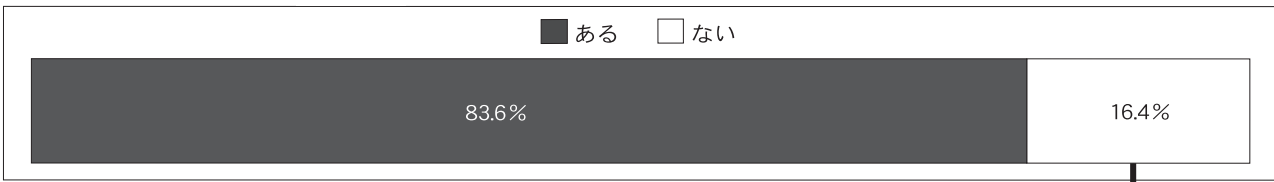
必要だと思う理由は何か 回答=319



必要ではないと思う理由は何か 回答=119



いま、仕事に対する意欲はあるか



意欲がないのはなぜか 回答=72

